

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	自然公園等利用ふれあい等推進事業経費	担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度	担当課室	総務課自然ふれあい推進室		室長 堀上 勝		
会計区分	一般会計	施策名	5-5 自然とのふれあいの推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法 § 14③ 自然公園法第3条	関係する計画、通知等	環境基本計画 生物多様性国家戦略2010				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自然とのふれあいの機会・情報の提供等により、自然環境保全に関する理解の深化、各種取組への意欲の増進、適正利用の促進等を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国立公園等において、重点推進期間等における自然とふれあい行事を実施するとともに、利用者指導等を行う自然公園指導員及び自然解説等を行うパークボランティアの技術向上のための研修等を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算	3.3	3.2	2.5	1.7	2.1
		補正予算	0.0	0.0	0.0	0.0	
		繰越し等	0.0	0.0	0.0	0.0	
		計	3.3	3.2	2.5	1.7	2.1
	執行額	1.9	1.5	1.4			
執行率 (%)	57.1%	47.8%	55.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年	22年	23年	目標値 (24年度)
	自然公園等利用者数の推移(参考指標) ※自然とのふれあい推進については、定量的指標に馴染まない適正利用等も含めて総合的に評価することが必要であるため、定量的な指標の設定が困難。	成果実績	千人	899,827 (21年暦年)	886,844 (22年暦年)	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	重点推進期間の行事参加者数	活動実績	人	10,588	6,547	9,434	—
単位当たりコスト	当事業は、上記の定量的な指標のみで評価することは適当ではないことから、事業全体として適正なコスト算出をすることは困難。		算出根拠	—			
平成23・24年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.4	0.8	—			
	委員等旅費	1.3	1.3	—			
	計	1.7	2.1				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国が管理する国立公園における利用指導や自然解説等については国が実施すべき事業であり、そういった対応が可能な人材の育成を積極的に実施していくことが重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	最新の知見を有する等、事業毎に専門家等を選定し、依頼している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	パークボランティア、自然公園指導員について、ボランティアとしての活動になるため、他の手段と比較して実効性の高い手段である。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	講師選定の工夫等により効率的な予算執行に努めつつ、本目的に沿った必要な事業を実施する。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	引き続き効果的・効率的な事業実施に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	—		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	312	平成23年行政事業レビュー	195

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

